

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 3月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103122		
法人名	社会福祉法人 あと会		
事業所名	グループホーム ダーラナやの・くにくさ		
所在地	広島市安芸区矢野東6丁目9番28号 (電話) 082-889-6668		
自己評価作成日	令和5年2月6日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	地域運営推進会議による評価
所在地	
	令和5年2月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ダーラナやの・くにくさでは、住宅地の中の1軒の家として自治会に加入し、川掃除などの地域活動に参加しています。家で過ごすことは難しくても、在宅でのかかりつけ医を継続するなど在宅に近い環境に近づけることでその人らしく過ごされています。法人の医師・看護師による医療のバックアップがあり、リハビリ部門からのアドバイスも得てケアに繋がっています。医師・看護師と共に健康管理を重視し、日々の体調変化に早期に対応できご利用者・ご家族の安心につながっています。ご利用者・ご家族としっかり話をする機会をもち、ターミナルケアを希望される時は、家族・医師・看護師と密に連携を図り、家族が見守る中でその人らしい最期を迎えられるようケアを行っています。コロナ禍ではマスクとともに日頃から手袋、エプロン、フェイスシールドを活用した感染対策をしっかり行い、新しい生活様式の基で過ごしていただいています。ガラス越しやズームでの面会を継続し、感染者数が少ない時は交流スペースやエントランスで感染対策を行い家族との面会を行っています。友人ともガラス越しや電話での交流を保っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍でご利用者の健康を守るために環境整備など気を付けられています。生活の中で色々と制限されていますが、外に出られない代わりに季節の飾り等を工夫されています。また、面会のための外玄関の模様替えなどいろいろ考え、より良いように改善されています。様々な制約がある中でご利用者が喜びを持ち過ごされていることを感じます。



自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人の理念「3Yのこころ」よろこび、やすらぎ、豊かさを、ミーティング等で共有し、職員の意識統一を図り日頃から気付きを相談しながらケアを行っている。コロナウイルス流行に伴い、令和2年2月からは個別に提案を聞く機会を持っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行に伴い、令和2年2月からは地域との交流の機会が少なくなっているが、自治会に入り、川掃除等の地域活動に参加している。	自治会に入り川掃除に参加されています。コロナ以前は快く施設内に入れてくださり、知人に会うことができていました。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行に伴い、運営推進会議を書面にて開催し、グループホームの取り組みやご利用者の状況を報告している。また構成員からいただいた意見をミーティング等で話し合い、サービスの向上に活かすよう努めている。	現在はコロナ禍で書類開催となっておりますが、定期的に行われています。書類から施設内の様子がよくわかります。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域包括支援センター職員に運営推進会議に参加いただいている。行政が実施する研修を受け入れていたが、コロナウイルス流行のため現在研修受入は行っていない。包括支援センターとは2ヶ月に1度連絡し地域の様子等を確認し、書類でグループホーム内の様子等を報告している。	地域包括支援センター職員や民生委員会長・副会長、民生委員と連携を図られています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行の為、合同のミーティングは行えていないが、事業所内での勉強会を通し身体拘束について学んでいる。また、勤務内で話し合い、理解、意識統一を図り身体拘束のないケアを実施している。また、個別に提案を聞く機会を持ち、		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会で学ばれている。ルールに沿ったケアを実施してください。

				必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行の為、合同のミーティングは行えていないが、事業所内での勉強会を通し虐待について学んでいる。話し合いの場を持ち、職員への意識付けを行い、意識の向上、ケアの質の向上に努めている。個別に提案を聞く機会を持ち、必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者、入居者家族が安心できる環境を整えてください。身体介助の際にケガやアザ等の発見があれば原因を究明してください。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナウイルス流行の為、合同のミーティングは行えていないが、事業所内での勉強会を通し権利擁護に関する制度、成年後見制度について学んでいる。個別に提案を聞く機会を持ち必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしている。また話し合いの場を持ち、職員の理解を深めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご入居前に事前面接を行い、ご本人、ご家族と十分に話し合い納得のうえ契約をしている。また、解約時や制度の改正時などは丁寧に説明し、理解、納得をしていただけるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内に苦情・要望検討委員会を設置しており、ご家族様に満足度アンケートを実施し、結果を運営に活かしている。また、事業所に入り口に意見箱を設置しているが、現在はコロナ禍で活用できていない。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	推進会議に家族が参加されていて意見を聞かれています。コロナ禍で閉鎖的になっているので情報発信や家族への連絡が重要です。要望シートの活用を継続してください。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月1階2階合同のミーティングを 実施し職員の意見交換や提案を話し 合う機会を設け、運営やケアに活か していたが、令和2年2月からはコロ ナウイルス流行の為、合同のミーテ ィングは行っていない。個別に提案 を聞く機会を持ち、事業所内だけで はなく、必要時には法人に伝える等 している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人事考課制度を取り入れ職員一人 ひとりが目標、役割を持ち、やりがい を感じて働けるよう環境作りに努め ている。また、目標面接を行い、職員 個々の勤務状況の把握に努め、働 きやすい勤務を組んでいる。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	引き続き皆さんが働きやすい環境、雰 囲気作りに頑張ってください。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内の研修制度や法人外の研 修機会を個々に設けていたが、コロ ナウイルス流行の為、現在は研修に 参加できていない。法人内研修内 容を共有するようにしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	代表者は職員に暖かく接されていま す。オンライン研修を積極的に取り入れ てはいかがでしょうか。サービスの平準 化に努めてください。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内での職員研修や同業者が 参加する研修会に参加し情報交換を していたが、コロナ禍で現在は研修 に参加できていない。法人内の他事 業所との情報交換を行い、サービス の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍では洗濯物たたみ切り絵 などの個々で出来る家事活動やレク リエーション活動など、その人その人 に合った役割を担っていただしてい る。必要に応じてサポートを行ってい る。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人が大切にしてきたものや馴染 みの物の情報収集を行い活用し ている。かかりつけ医や自宅など との関係を継続し、ご家族や知人との 交流が継続できるよう努めている。	コロナ以前は夏祭り等で家族を招き、 多くの入所者が楽しそうにされていま した。		

				定期的に電話がかかり友人と交流を持たれている方もいる。コロナ禍では法人の制限に基づいた面会を行っている。ガラス越しでの面会が多くなっているが、制限が一部解除された時には感染対策を行いながら、家族との距離が縮められるよう空間作りをしている。また、ズームを活用したりリモート面会も随時行っている。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者お一人おひとりの思い、意向に添うようコミュニケーションを図り、ケアに繋げている。また、表情やしぐさから様子を読みとり、ご家族の意向を伺うなどしてケアに活かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護計画作成時やモニタリング時に関係職員やご本人ご家族と話し合いを行い、課題、意向を検討している。そこで得た情報を介護計画に反映させている。また、ご利用者の状態に合わせ随時カンファレンスを実施し、現状に合わせたプランの見直しを行っている。	本人に合わせた計画を立てられています。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者が充実した生活を送れるよう継続して取り組んでください。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日勤帯、夜勤帯の職員が個別の記録を記入し、職員がその情報を共有できるようにしている。また、気づきや状態変化などを連絡ノートや申し送りを通じて職員間で伝達、共有し日々のケアや介護計画の作成、見直しに活かしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	引き続き職員の方の情報共有に努めてください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内の他事業所や協力医院と連携を図り、可能な限りニーズに合わせた対応ができるよう努めている。コロナ禍のため、外出は中止し、必要時には感染症に気をつけ対応している。	看取りで連携している様子を聞き、心を打たれました。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との繋がりは大切にしているが、コロナ禍のため外出や交流を中止している。	コロナ禍のためご利用者は地域との関りがなくなっています。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者、ご家族の希望に合わせて定期的にかかりつけ医の受診、往診を行っている。症状によってはかかりつけ医の紹介で適切な医療機関へ受診できるよう連携をとっている。また、法人ドクターの定期回診、訪問看護による定期健康チェックを行い協力関係を築いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際にご利用者、ご家族が安心して入院治療が受けられるよう医療機関に情報提供をしている。また、早期退院ができるよう情報交換や相談を行い、出来るだけ退院前カンファレンスに参加し、連携を図るよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際に病院とやり取りされていて安心していました。ご利用者およびご家族が安心できる体制を維持してください。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り介護指針を定め、重度化してこられた際には、早い段階で医療職員を交え終末期に向けた話し合いを行っている。また、終末期にはご本人、ご家族の希望に添ったターミナルケアが行えるよう、訪問看護、かかりつけ医との連携を密にして取り組み、ご家族との連絡も密にとり、必要に応じて何度でも話し合いの場を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が納得し安心できるよう対話する体制を維持してください。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で勉強会を行い、急変時に対応できる実践力を身につけるよう努めている。また、緊急時連絡マニュアルを備え、全職員が把握している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ以前はデイサービスとの合同火災訓練や近隣住民を交えていたが、現在は消防署立会いの火災訓練を行っている。また運営推進会議を通じご利用者の状況をご理解していただき、火災時等のご協力をお願いしている。水害時には2階へ避難するようにしている。時季に合わせた避難や火災避難訓練の問題を基に個別に避難の仕方等を伝えている。	火災訓練を行うことは聞いていましたが、参加はできませんでした。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者の安全確保に努めると同時に災害等で近隣に害が及びそうな際には連絡等の指示をお願いします。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者個々の人格を尊重し、その方に合った声かけ、対応を行い、プライバシーを傷付けないよう尊厳をもってケアにあたっている。また、勉強会やミーティングにおいて話し合い職員の意識統一、向上を図っている。コロナウイルス流行のため、現在はご利用者一人ひとりの気をつけているポイントをまとめ、文章で伝えている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	引き続き現体制が維持できるよう願います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご利用者お一人おひとりの生活歴や習慣、性格を把握し、その方のペースを大切にして支援している。また、その日、その時の体調や状態、ニーズに合わせた対応を行うよう心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の能力に合わせて職員と一緒に準備や片付けを行っている。コロナウイルス流行に伴い、同席者を少なくし、ご利用者一人ひとりが出来るだけ向かい合わないよう配慮している。職員は1人ひとり離れた場所で食事をしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	アレルギー、喉に詰まらせる等に注意して現状を維持してください。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の状態、好みに合わせて食事形態や量、飲み物など工夫して提供している。嚥下困難な方には好みに合った飲み込みやすい物を提供して			

				いる。また、栄養管理を法人の管理栄養士が行っている。飲み込みが難しくなるなどの変化がある時は管理栄養士に相談し、アドバイスを受けている。退院時の食事形態を病院で確認し、対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食後に各居室の洗面台にて、個々の能力、状態に合わせた口腔ケアを行っている。また、歯科往診で口腔ケアを受けておられる方もいる。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	現状を維持してください。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせた下着、排泄用品を使用しながら排泄リズムを把握して、それぞれの状態、能力に合わせてトイレ誘導、見守りを行い可能な限りトイレでの排泄を促している。排泄用品は過度な使用とならないよう配慮している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	羞恥心に配慮し、現状を維持してください。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来るだけご利用者の状態や希望、気分に合わせて対応し、会話を楽しみながらゆっくり入浴出来るよう支援している。職員は入浴介助時もマスクを使用し、フェイスシールドも使用することもある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の状態や習慣、その日の調子に合わせた声掛けなどを行い、不安混乱がある場合はゆっくりお話をうかがい、温かい飲み物を提供するなどして良眠できるよう支援している。また、一日を通し個々の体力や状態に合わせて休息を提供している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は各ご利用者の服薬状況を把握しており、薬の変更や状態変化等があった場合はケース記録や連絡ノート、申し送りにて情報共有している。また、症状や体調の変化を随時訪問看護やかかりつけ医に連絡し連携をとっている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	誤薬に注意し、現状を維持してください。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出や交流を中止している。ご利用者お一人おひとりの能力やニーズ、状態に合わせて個別で役割や楽しみをもっといただき、生活の中で気分転換出来るよう支援している。	コロナ禍が明けたら、みんなで行うレクリエーションや家事活動を増やしてください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出や交流を中止している。面会制限が一部解除されている間にドライブを実行するなど、可能な範囲で外出支援を行っている。	コロナ禍が明けたら外出の機会を増やしてください。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はご利用者がお金を持つことの大切さや安心感を理解しており、ご本人の希望に応じてご家族と相談の上、所持していただいているが、コロナ禍のため直接支払う支援は行えていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望があればいつでも自由にご家族や知人へ電話がかけられるようにしており、使用方法が分からない時は必要な援助を行っている。個人携帯を持たれている方もいる。ニーズがあれば手紙のやり取りにおいても準備支援投函など必要な援助を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビング、廊下、台所など共有スペースはゆとりある空間となっており、自然光や風が入る大きな窓などご利用者が快適に過ごせるよう環境に配慮している。リビングの窓際には室内花壇があり、植物を育て、ソファやテーブルを設置してご利用者同士がくつろぎやすい居場所を作っている。また、季節を感じられる作品を掲示するなど工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の飾り等工夫されている。コロナ禍で様々な制約がある中で、ご利用者が活力を感じられていると思う。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時その時の思いを口にされたり、迷ったり混乱された時に、それぞれに合わせた対応をして思いに沿っている。思いを伝えられる方は思いを聞き、思いを伝えられない方は表情や声掛けの反応等から思いをくみ取り意向に沿った支援を行っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前面接の情報、入居時のサマリーや生活歴などの情報をもとに、それぞれに必要なケア、支援を受けている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にかかりつけ医の受診や往診を受け、体調不良時には訪問看護や医師に報告相談し、必要なケアや支援を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き維持してください。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望をうかがう、生活歴などの情報を参考にして、ご自分のペースで楽しみをもって過ごせるよう支援を受けている。コロナ禍で施設内に限られるが、一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活を送っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使っていた物、ご家族の写真、自分の作品などを居室に飾っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に写真を飾る、なじみの物を置くなどされている。飾り物でケガや転倒に繋がらないよう注意してください。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため受診以外の外出がほとんど出来ていない。	コロナ禍が明けたら外出の機会を増やし、以前の生活に近づけてください。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度の方は難しいが、できる方は洗濯物たたみなどの役割を持ち、一人ひとりにあったレクリエーションを行っている。			

47		本人は、自分がいいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣席者や職員との会話を楽しまれて いる。家族や友人との会話を楽しま れる方もいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状維持できるように雰囲気づくりに 尽力してください。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ガラス越しの面会や電話、リモート 面会などで家族と交流することはあ るが、コロナ禍のため職員以外との 関りが少ない。	コロナ禍が明けたら以前の面会に近づ け、今より家族と交流できるようにし、ま たボランティアさんにもきていただき、多 くの人と関わられるようにしてください。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出ができない、家族と 自由に会えない等の制限はあるが、 安心した生活を送ることはできてい る。	将来こういう施設で過ごしたいと思って います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	明るく陽当たりの良い施設と優しい職 員さんが多い良い環境と思う。職員の皆 様の尽力に感謝します。引き続きよろし くお願いします。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームダーラナやの・くにくさ

作成日 令和5年3月15日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点, 課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	36	コロナ禍で外出機会が なく閉じこもった生活 になっている。	外出の機会や集団での 楽しみを増やす。	行事、ドライブなどの 楽しみの計画を立て実 行する。	令和5年3月 ～令和6年2 月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。